

対インドネシア共和国 国別開発協力方針

平成29年9月

1. 当該国・地域への開発協力のねらい

インドネシアは、東南アジア地域において人口・国土とも最大のASEANの中核国であり、世界最大のイスラム人口を抱える。また、国際海上交通の要衝であるマラッカ海峡の沿岸国である。

我が国との関係においては、同国は長い友好関係を有する戦略的パートナーであり、民主主義や人権、ルールに基づく多角的貿易体制といった基本的な価値を共有している。経済分野では、長年にわたり製造業など多くの日系企業が同国へ進出しており、2016年には1800社を超す日系企業が拠点を置いている。2008年7月に日・インドネシア経済連携協定が発効し、我が国とインドネシアの経済関係は一層緊密になっている。インドネシアは我が国にとって天然ガスや石炭などのエネルギー資源の重要な調達先であり、ガス田開発などエネルギー分野においても我が国や日系企業との関わりは深い。2015年にASEAN共同体が発足するなど、ASEAN域内の経済統合、連結性（コネクティビティ）の強化等が進んでおり、こうした流れの中で、同国にこれまで多大な投資を行ってきた日系企業にとって、インドネシアの重要性は高まっている。このように、インドネシアの経済発展は、同国民に恩恵をもたらすのみならず、我が国が東南アジアを含むアジア地域の国々とともに発展していくという観点からも、重要性は極めて高い。

インドネシアではジョコ・ウィドド大統領が2014年10月に就任し、2015年1月に「9つの優先課題（ナワチタ）」を盛り込んだ「国家中期開発計画2015—2019」が発表され、国際競争力の向上やインフラ整備、地域間格差の是正などの方針が確認された。同国は、ASEAN唯一のG20メンバー国であり、国際社会において期待される役割は大きい。同国のこうした開発方針を踏まえた支援を行うことは、我が国を含むアジア地域の安定と発展に不可欠である同国の安定と発展に寄与する。

2. 我が国のODAの基本方針（大目標）：インドネシアのバランスのとれた経済発展と国際的課題への対応能力向上への支援

インドネシアの均衡ある発展を実現するため、質の高いインフラ整備等を通じた国際競争力の向上や、安全で公正な社会の実現に向けた支援を行うとともに、アジア地域及び国際社会の課題への対応能力の向上に向けた支援を実施する。

3. 重点分野（中目標）

（1） 国際競争力の向上に向けた支援

グローバル化が進むインドネシア経済において、民間企業の国際競争力向上を通じた経済成長を実現するため、交通・物流・エネルギー・通信網等の質の高いインフラの整備や、各種規制・制度の改善支援などを通じたビジネス・投資環境の整備並びに人材育成を支援する。

（2） 均衡ある発展を通じた安全で公正な社会の実現に向けた支援

安全で公正な社会を実現するため、生活の質の向上に向けて、大都市だけでなく、地方の開発を支援するとともに、防災対策等の行政機能の向上を支援する。

（3） アジア地域及び国際社会の課題への対応能力向上に向けた支援

アジア地域及び国際社会の課題でもある気候変動並びに環境保全対策を支援するとともに、海上安全やテロ対策、感染症問題への対応能力、さらに、援助国（ドナー）としての能力向上を支援する。

4. 留意事項¹

インドネシアの経済発展には海外からの投資が重要であり、投資を呼び込むためには予見可能性・安定性の向上等のビジネス・投資環境改善が重要であることから、インドネシア政府に対して引き続き申入れを行っていく。

また、3.（3）に関し、暴力的過激主義対策については、インドネシア国内のみならず地域・国際社会においても取り組んでいくべき深刻な課題であり、同国が力を入れている分野でもあるので、今後の協力のあり方につき、検討する。

（了）

別紙： 事業展開計画

¹ インドネシアを対象として実施された過去のODA国別評価は次のとおり。

インドネシア国別評価（2003） 報告書掲載先：

http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/shiryo/hyouka/kunibetu/gai/indonesia/kn3_01_index.html

インドネシア国別評価（2007） 報告書掲載先：

http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/shiryo/hyouka/kunibetu/gai/indonesia/kn07_01_index.html